



MAN893A

IIXIL

FIX窓(外押縁タイプ)

取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意…取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 防火戸FGの場合、複層ガラス・後付けビードは必ず指定のものを使用してください。
指定部品を使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。
- 本製品は、複層ガラスを使用するため、製品重量が最大130kgとなります。
枠の垂れ下がり・ガラス落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・必ず指定のねじで枠を固定してください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
 - ・開口部を付け枠等でふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
 - ・ガラス入れ後、ガラスを外れにくくするため、ガラス固定金具または、縦枠補強金具を必ず指定のねじで取付けてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - ・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)を使用してください。

お願い

- 防火戸FGの場合、ガラス建込み時に室内側から見て防火ラベルがガラスの右上にくるように配置してください。

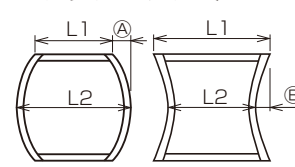
※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	後付けビードのコーナー部には切れ目を入れて押込みましたか？	☐
2	後付けビードは余長を持たせて取付けましたか？ (目安 1000mmあたり30mm)	☐

■取付け上のお願

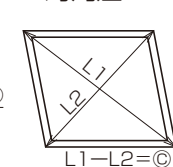
- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付け位置)から37±1mmにしてください。(204単純段差の場合は27±1mm)アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

■サッシ枠のフクレ・ツツミ



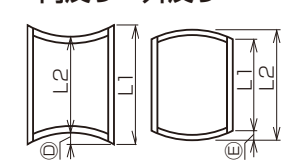
L2-L1	A	L1-L2	B
3	1.5	3	1.5

■サッシ枠対角差



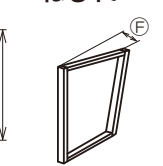
C
2

■サッシ上下枠の内反り・外反り



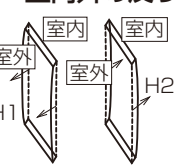
L1-L2	D	L2-L1	E
3	2	3	1.5

■サッシ枠のねじれ



F
2

■サッシ枠の室内外の反り



H1	H2
1	1

■取付けねじ・押縁・部品一覧表

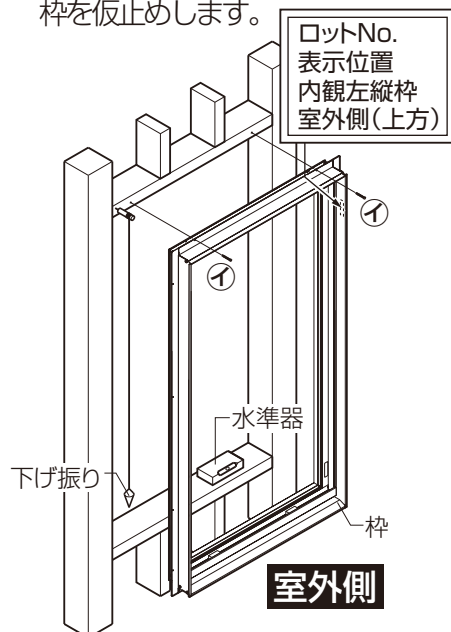
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
枠取付けねじ φ3.1×25 (低頭ねじ)	丸木ねじ φ3.5×25	ガラス固定金具 または 縦枠補強金具	ワンウェイねじ M4×12	なべタッピンねじ 3種 M4×10	外れ止めビード	押	縁
		ガラス固定金具				上用/1本	縦用/2本

※⑧はサイズにより無い場合があります。③はいずれかが同梱されています。⑤は縦枠補強金具が同梱されている場合、予備が2本入っています。

■取付け順序

1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。



2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
※ねじを固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。
縦枠および上下枠が外側にこぼれ、開閉不良など不具合が発生することがあります。

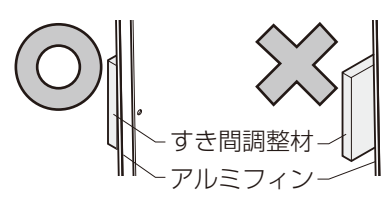
▲注意

- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



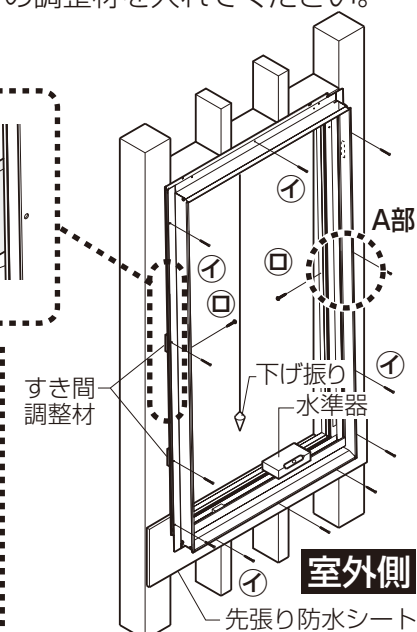
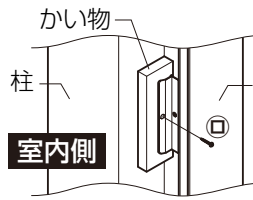
お願い

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。



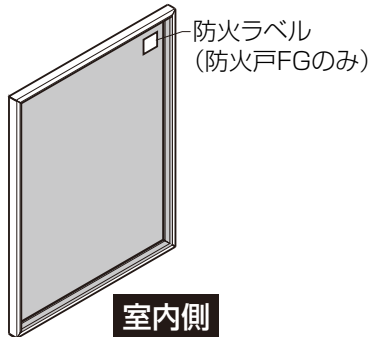
■A部詳細図

※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。



■3 ガラスの建込み

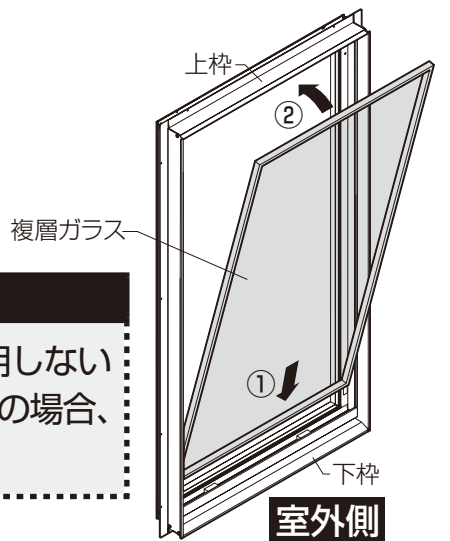
- 下枠→上枠の順にガラスを室外側からはめ込みます。
※防火戸 FG の場合、ガラスは、防火ラベルが内観右上になるようにはめ込んでください。



※防火戸 FG の場合、室内側から見て防火ラベルが右上にくるように配置してください。

⚠ 注意

- 複層ガラスは必ず指定のものを使用してください。指定のガラスを使用しない場合、枠の垂れ下がり・ガラス落下のおそれがあります。また防火戸FGの場合、所定の防火性能を満たしません。



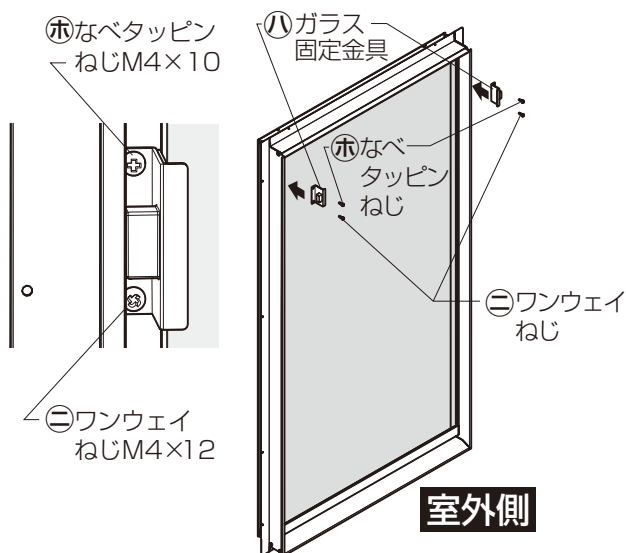
■4 ガラス固定金具の取付け

- ガラス固定金具を取付け穴に合わせ、ねじ③④で固定します。
- ※ねじの種類と位置を間違えないようにしてください。
- ※ねじが固定しにくい場合は、ガラスを片側に寄せ、十分なクリアランスを確保してください。ねじを固定した後はガラスを中央の位置に戻してください。

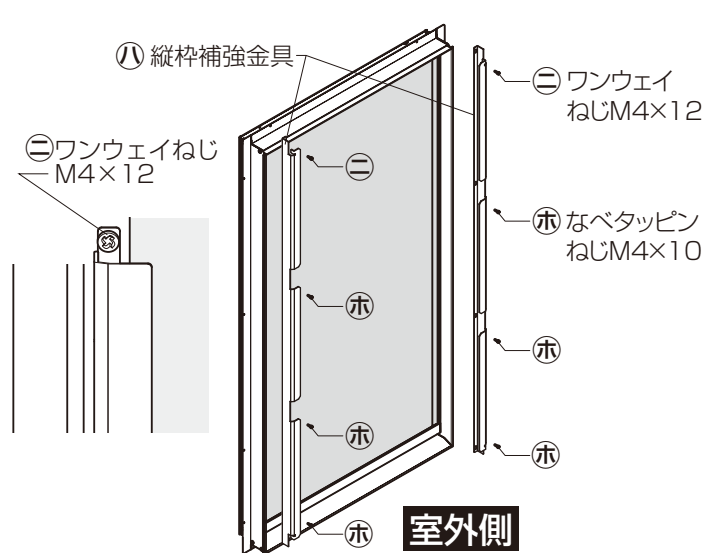
⚠ 注意

- 必ず指定のねじで取付けてください。
指定のねじを使用しない場合、ガラス落下のおそれがあります。

【ガラス固定金具の場合】

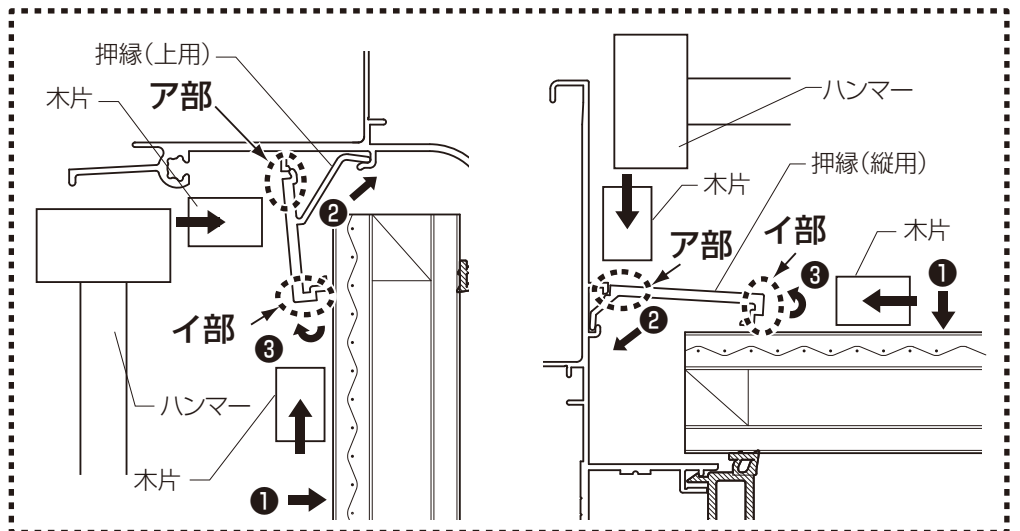
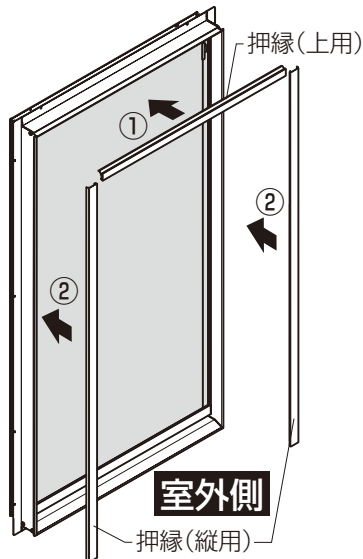


【縦枠補強金具の場合】



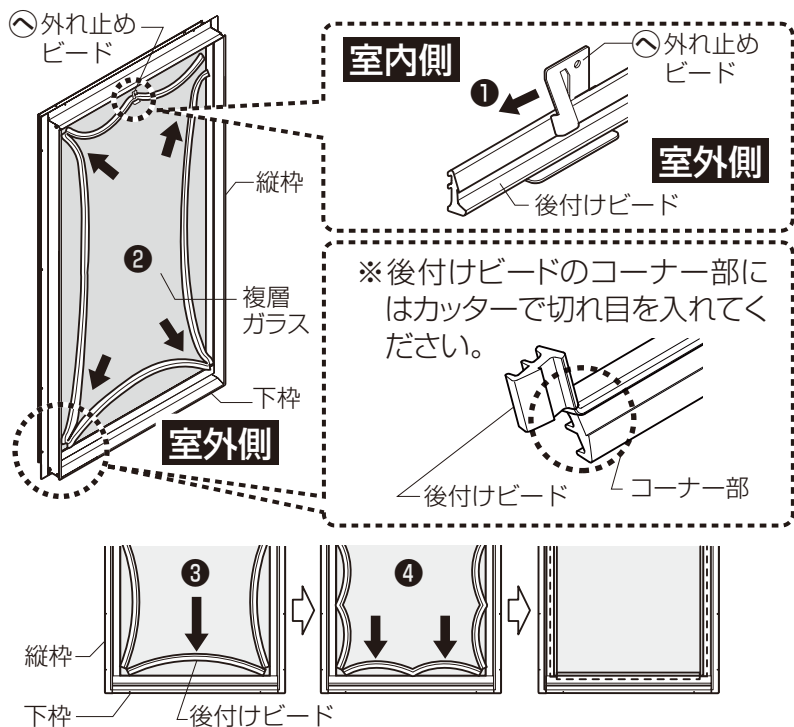
■5 押縁の取付け

- 上→縦の順に押縁を入れます。
- 樹脂形材の軟質部が潰れるよう、図の①のようにガラスを室内側に押し当てます。
- 図の②のように押縁の足部を枠の引っ掛け部に入れ、③のように回転させます。その際押縁が入り難い場合は、木片などで当て木をし、ハンマーなどで押縁のア部、イ部の順に叩いて、入れます。



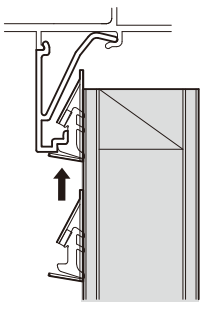
6 後付けビードおよび外れ止めビードの取付け

- 図の①のように㊦外れ止めビードに後付けビードを挿入し、外れ止めビードが上部中央にくるようにします。
- 図の②のように余長を持たせて、四方に後付けビードをまわします。余長なく押込むとビードが収縮し、外れや雨漏りの原因となります。
- ※後付けビードは、必ず上部のコーナーにつなぎ目をもってきてください。
- [後付けビードの余長の目安1000mmあたり30mm]
- 図の③④のように数箇所、均一にたわむように仮止めしてから押込みます。



■外れ止めビードの取付け

- ※力チツと音が
するまで差込
んでください。



⚠ 注意

- 後付けビードは必ず指定のものを使用してください。指定の後付けビードを使用しない場合、防火戸FGは所定の防火性能を満たしません。

【ビードの押込みがきつい場合】

後付けビードを 100 mm 程度に切断して上・縦の 3 方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。またヘラなどを押縁とガラスのクリアランスに入れ、軽くひねるなど、クリアランスを広げると後付けビードが押込みやすくなります。その際、ヘラの先端でガラスのエッジを傷つけないようご注意ください。

